

## 風化氷のある氷河表面のアルベドモデル

### Albedo model of glacier surface with weathered ice

# 松田 好弘 [1]; 坂井 亜規子 [2]; 藤田 耕史 [3]  
# Yoshihiro Matsuda[1]; Akiko Sakai[2]; Koji Fujita[3]

[1] 名大・環境; [2] 名大・環境; [3] 名大・環境  
[1] none; [2] Env.,Nagoya Univ; [3] Nagoya Univ.

風化氷とは、氷河の表層での結晶が緩く結合している多孔性の氷のことであり、氷の結晶粒界に沿って起こる放射エネルギーの吸収格差によって形成される。風化氷がある時の氷河表面のアルベドは、ツルツルの青氷が露出している時のアルベドよりも高いので、氷河表面のアルベドと表面エネルギー収支に風化氷の形成は重要である。本研究では、夏期に風化氷が見られた中国・July 1st 氷河におけるアルベドと質量収支をモデル計算した。モデル計算する際に、風化氷の形成量は、表面付近にある雪や風化氷の層の下にある青氷で吸収される太陽放射量の関数であると仮定した。モデル計算されたアルベドと質量収支は、風化氷の形成を考えないで計算されたものより、はるかに実際の観測値に近い値になった。